

Rainbow Times

ISPCAN（国際子ども虐待防止学会）の公式論文雑誌

Child Abuse & Neglect の紹介 -2017年度初号 vol.63-

Child Abuse & Neglect「性的虐待を含めた児童虐待及びネグレクトの予防と治療についての国際多分野協働に関する内容を扱い、家族の絆について討論する場となっている。掲載されている論文は、心理学、精神医学、ソーシャルワーク、看護、医学、司法、刑法、政府、教育、そして人類学の領域が主であるが、本雑誌は、専門家だけでなく専門家以外の関係者、さらには児童のための関係団体などの実践が促進されることを目的としている。」

ISPCANは、子ども虐待、ネグレクトに対する治療と予防を世界規模で研究、実践するために1977年に設立されました。各国持ち回りで隔年で世界会議が開催されています。日本でも、第20回世界会議が、2014年9月に日本(名古屋)で行われました。

2017年初号のChild Abuse & Neglect vol. 63には、特集「**児童に対する性的虐待、ジェンダー、そして健康への影響をめぐる近年の諸問題**」に関する論文6本と、研究論文23本が掲載されています。

特集の6論文および論説のタイトルをご紹介します。

【論説】児童に対する性的虐待、ジェンダー、そして健康への影響をめぐる近年の諸問題：グローバルな政策と実践の必要性に新たな光を当てる

幼少期の性的被害と危険な性的行動 (risky sexual behavior) との関連におけるジェンダー差：系統的レビューとメタ分析 米国、ウガンダ、タンザニア、ジンバブエ、南アフリカ、英国、の研究を含む。

幼少期の性的被害から思春期・青年期の性暴力被害および加害へと至る過程とジェンダー差 対象はドイツの大学生2,251名。

50年後の精神保健の指標：幼少期に性的虐待を受けた男性を対象にした、集団ベース研究 “Wisconsin Longitudinal Study” (ウィスコンシン高校の1957年卒業生10,317名とランダムに選ばれたそのきょうだい5,823名の調査)のデータを使用。

幼少期の性的被害と物質乱用：ジェンダー・パラドックス？ 2005年の「GENESIS研究」(カナダ10州在住の18-76歳からランダムに選出し、ジェンダーとアルコールの使用について調査)のデータを使用。

幼少期の性的暴力の予防のための学校内プログラムの効果と、地域環境の影響 対象は、米国テネシー州の14の公立小学校に通う児童1,177名。

性的被害を受けた未就学児童の情動調節に関する縦断的研究 対象は、カナダの3-6歳の児童121名(うち性的被害児47名)。

日本においては、平成27年度「児童相談所における児童虐待相談対応件数」のうち性的虐待は1,521件。世界各国の研究報告から、性的虐待の影響は、児童の成長過程だけでなく成人以降にも及ぶことが示されています。

H29年度研修について

児童福祉法の改正により、平成29年度より以下の研修が義務化されました。

- ①要保護児童対策調整機関担当者研修
- ②児童福祉司の任用前講習会
- ③児童福祉司の任用後研修
- ④児童福祉司スーパーバイザー研修

それにともない、平成29年度のセンター研修も新規・再編・休止等変更点が生じています。

「義務研修講師等養成研修」

①要保護児童対策調整機関担当者研修を中心に、②児童福祉司任用前講習会及び③児童福祉司任用後研修を担当する講師及び企画者向けの研修です。(定員80名、4日間、4月開催)

「児童相談所児童福祉司スーパーバイザー義務研修」

国から示されたカリキュラムに沿って、④を開催します。(定員80名、3日間×2回、前後期通しての受講)

その他、毎年2回開催しているテーマ別研修は1回となり、以下のテーマで開催します。

テーマ別研修「虐待を受けた子どもへの地域でのケア」

虐待が及ぼす影響等、子どもへのケアに焦点を当てたプログラムとなっています。(定員140名、2日間、3月開催)

また、例年開催していました「地域虐待対応合同研修(出前研修)」「児童相談所職員合同研修」「児童相談所・児童福祉施設職員合同研修」は休止となります。

平成29年度の研修概要(冊子)が完成しました!各機関にお送りしましたが、HP(援助機関向けページ)からダウンロードすることもできます。

年度初めの研修については、3月下旬より申込が開始しています。また、従来の実施時期より大幅に変更になっている研修もありますのでご注意ください。

企画・編集室(担当:南山)お気づきの点は下記まで...

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地

子どもの虹情報研修センター

TEL: 045-871-8011 FAX: 045-871-8091 Email: guest-1@crc-japan.net

情報発信の配信先アドレスの変更
・配信停止等はこちらまでご連絡ください。